

# 倉吉未来中心 避難口誘導灯の消灯手続きについて

エースパック未来中心

## 1 避難口誘導灯を消灯できる施設

大ホール及び小ホールの2施設です。

## 2 消灯できる誘導灯の範囲

- 消灯できるのは、避難口の誘導灯のみです。足元灯は入場者の出入りの安全を確保するために必要な設備があるので消灯はできません。
- 入場者の客層(高齢者や子ども等)や講演内容によって、消灯が危険と認められる場合は消灯できません。

## 3 消灯の条件

- 避難口誘導灯の点灯が演出上、特に弊害となる時間帯に限定してください。

区分	開演前	開演中の必要部分	休憩	開演中の必要部分	終演	終了
客席照明	点灯	調光開始 (明→暗)	調光開始 (暗→明)	調光開始 (明→暗)	調光開始 (暗→明)	点灯
誘導灯	点灯	消灯	消灯	消灯	点灯	点灯

- 消灯時の観客の入場について、主催者の責任において、各避難口の客席側に最低1名以上の誘導員を配置し、舞台監督、エースパック未来中心職員と密に連絡を取り合い、非常時に備えてください。  
ただし、施錠等により利用しない階の客席がある場合には、その階の客席の各避難口への配置人員は除いてもかまいません。

各階客席の 避難口の数	1階客席→4ヶ所	※エースパック未来中心職員が消灯時間帯に避難誘導員の配置 状況を確認するため入場することがありますので、ご了承ください。
	2階客席→6ヶ所	
	3階客席→4ヶ所	

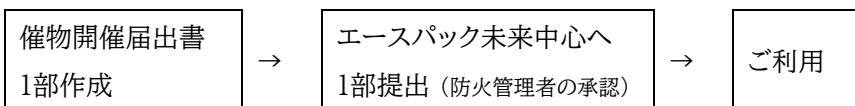
- 公演開始前に消灯に関する场内放送を最低2回以上行い、入場者に対して周知してください。  
(参考:別紙カゲアナウンス原稿)

## 4 避難口誘導灯の消灯及び点灯方法

- 消灯及び点灯は、エースパック未来中心職員が調光室の操作卓により手動で操作します。
- 非常時には、火災報知設備と連動して自動的に避難口誘導灯が点灯します。
- 休憩及び終演時には、客席照明と連動して自動的に避難口誘導灯が点灯します。
- 危険防止のために必要と認められる場合は、エースパック未来中心職員が手動で点灯します。

## 5 消灯の手続き

- 利用日の5日前までに次のとおり手続きを行ってください。



- 添付書類として、「消灯タイムスケジュール」「誘導員配置計画書」「誘導員名簿」が必要です。